

歴博くらしの植物苑だより

第9回日本の植物文化を語る 8月26日(土)13:30～ 本館講堂

『近世の園芸文化—その仕掛け人と作り手—』 小笠原亮 (名古屋園芸)

『伝統の朝顔』 展開幕まで後わずか

本年度で8回目になる、『伝統の朝顔』展が8月8日から9月3日まで開幕いたします。今年は正木系統41系統、出物系統22系統、大輪系統20系統、ヨーロッパで栽培されている5品種、黄花ルコウソウ、ユウガオを展示いたします。平成になって、交配育種されたアサガオ、特に昨年歴博で発見された無弁花のアサガオを初公開いたします。



×219 黄鋏形葉吹詰多様丸咲牡丹



408 黄抱常葉白丸咲牡丹



448 青林風葉紅丸咲牡丹



232 青斑入州浜葉桃丸咲大輪

葉の種類1



松島鋏形葉



州浜葉



抱葉

①トロロアオイ アオイ科トロロアオイ属

中国原産の多年草で、和紙の糊原料や観賞用に栽培される。直径10センチほどの黄色の大きな花をつける。秋に根を収穫し、打ち砕いて水につけたものを和紙を漉く糊として用いる。



②ポップコーン イネ科トウモロコシ属

写真左は雄花で、茎の先端で咲く。②は雌花でヒゲと言っている部分は花柱である。この種は爆裂種ともいい、粒の大部分が硬く、中央部に水分を含んだ軟質部があり、加熱すると急に膨らんで粒がはせる。トウモロコシは粒の形態や胚乳の質によって8変種に区分される。私たちがよく食べるのは、甘味種で胚乳に糖を多く含み、未熟果実を食用にします。



③ウド ウコギ科タラノキ属

夏緑の多年草で、成育はよく、横に広がる性質があります。花は散状花で、一斉に咲くことは無く、写真の様に色の違いで、花の咲く順番がわかります。



④つるくびヒョウタン ウリ科ユウガオ属

果実の上半分がツルのくびのように細くなる果実をつけるヒョウタン。下半分の膨らんだ部分を半分にかけてヒシヤクに用いたりします。



⑤小ダルマヒョウタン ウリ科ユウガオ属

中央のくびれがほとんどないダルマ型のヒョウタン。半裁して水汲みや容器にします。



⑥千成ヒョウタン ウリ科ユウガオ属

日本で栽培されるヒョウタンで、最も典型的な中央のくびれた形をし、栽培もし易く、着果数の多い豊産種。



⑦岡部マリヒョウタン ウリ科ユウガオ属

ガーナ産のヒョウタンで、正球形のヒョウタンです。